



JEPICA 静岡大会 2014

(全国てんかんセンター協議会総会)

会場： 静岡労政会館・葵タワー

会期： 2014年2月15日(土)・16日(日)

大会長： 井上 有史 (静岡てんかん・神経医療センター)

全国てんかんセンター協議会総会 静岡大会 2014 開催にあたって

てんかんセンターは、てんかん医療構造における三次医療に位置し、難治てんかんの包括的な診断・治療を行うとともに、一次・二次を含むてんかん医療構造全体にわたるてんかんケアを視野に入れて、その改善のために活動することを使命としています。

全国のてんかんセンターが集い、問題点を共有し、診療およびケアの質を改善するための議論の場が設けられるようになったことは大変有意義であり、議論を通じて、3次てんかん診療施設が、患者会その他のてんかん医療を支援する組織および行政等と緊密な連携を図りながら、全国的なてんかん医療の質の向上を達成するために連携して活動することは非常に重要な意味があるものと考えます。

全国てんかんセンター協議会の活動の一環として、皆が一堂に会して議論する場を、今回静岡で設定するお手伝いができたことを光栄に思います。

静岡大会 2014 では、すべての発表を医師以外の職種にお願いしました。一つの試みとして検証していただき、今後の協議会総会の準備に活かしていただければと思います。

短い期間ですが、静岡での懇親を楽しんでいただくべく、おもてなし部隊も想を練っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

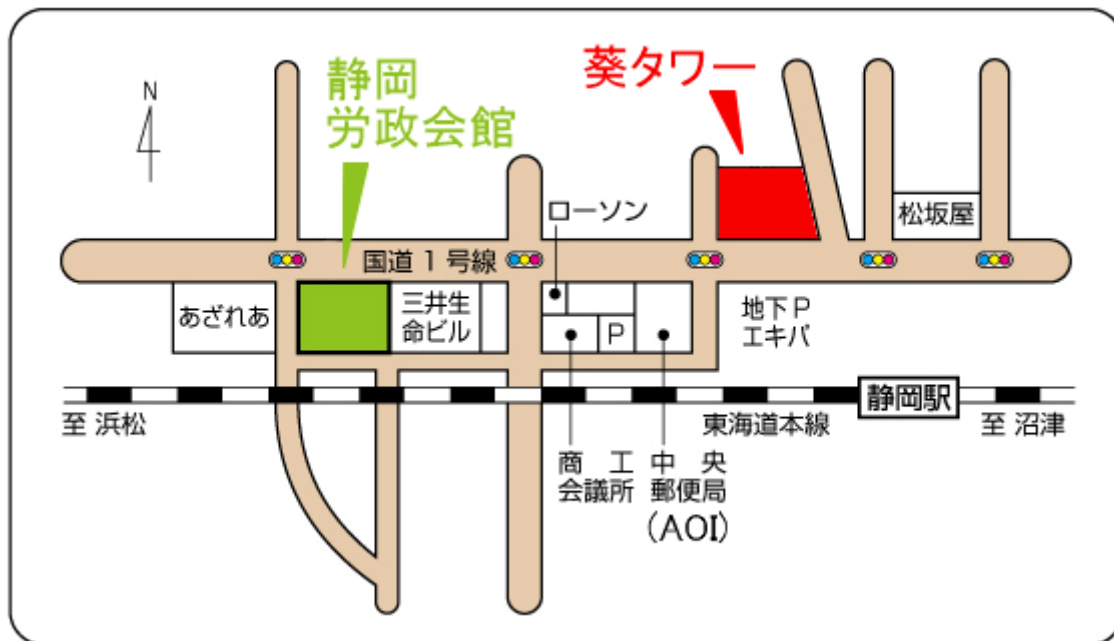
2014年2月

全国てんかんセンター協議会総会静岡大会 2014

大会長 井上有史

事務局 寺田清人

交通のご案内(静岡労政会館・葵タワー)



静岡労政会館(6階・大ホール)

〒420-0851 静岡市葵区黒金町 5-1(静岡県勤労者総合会館)
電話:054-221-6280

葵タワー(24階・グランディエール ブケトーカイ)

〒420-0851 静岡市葵区紺屋町 17 番地の1
電話:054-273-5151

ご案内とお願い

参加者の皆様へ

- 1) 参加受付は静岡労政会館 6 階ロビーにございます。受付開始ですが、2 月 15 日は 10 時より、16 日は 8 時半より行います。
- 2) 参加費は医師 6000 円、コメディカル 3000 円です。
- 3) 会場内での呼び出しはいたしません。
- 4) 2 月 15 日 19 時から、葵タワーにて各施設の活動報告・情報交換がありますので、奮ってご参加ください(参加費不要)。

クロークについて

- 1) 労政会館のクロークは 5 階展示室に設置しております。
2 月 15 日 10:00 から 19:00
2 月 16 日 8:30 から 15:00
- 2) 葵タワーのクロークは 24 階のエレベーター横に設置しております。

一般演題・指定発言の演者の方へ

受付方法

- 1) ご発表の先生は、セッション開始 30 分前までに、発表用データを PC 受付にお持ちになり、出力チェックを行ってください。その際、文字化けやレイアウトの崩れなどのご確認をお願いいたします。
- 2) 協議会本部では Windows7 に Microsoft PowerPoint 2010 および 2013 をインストールしたものを準備いたします。フォントは OS に標準で装備されているものをご使用ください。発表用データは、ウイルスチェックを行った USB メモリあるいは CD-R にてお持ちください。お持ちいただいた USB メモリまたは CD-R はその場で返却いたします。
- 3) Macintosh または発表にて動画をご利用される方はご自身の PC をお持込ください。なお、液晶プロジェクターへの接続のためには D-sub 15Pin (ミニ)アダプターが必要になります。
- 4) 受付いたしました発表データは、発表終了後、確実に消去させていただきます。

発表に際して

- 1) 前演者の発表開始後、ただちに会場内の次演者席にお着きください。
- 2) 発表は、すべて PC によるプレゼンテーション(1 面映写)となります。スライドやビデオはご使用になれません。
- 3) 発表時間は、指定発言は 20 分(質疑応答 3 分を含む)、一般演題は 15 分(質疑応答 3 分を含む)です。質疑応答を含む持ち時間終了 5 分前で緑ランプ、1 分前で赤ランプが点灯します。時間厳守をお願いします。
- 4) 口演中、スライドの操作は演台に置かれた PC により、ご自身で操作していただきます。

座長の方へ

- 1) セッション開始予定の 10 分前には、会場内の次座長席にお着きください。
- 2) 発表時間は、指定発言は 20 分(質疑応答 3 分を含む)、一般演題は 15 分(質疑応答 3 分を含む)です。質疑応答を含む持ち時間終了 5 分前で緑ランプ、1 分前で赤ランプが点灯します。時間厳守にて進行をお願いします。

討論される方へ

- 1) 会場にスタンドマイクを設置しております。討論者はマイクの前にて座長の許可をお待ちください。
- 2) 討論者は、座長の許可を得た上で、所属・氏名を述べた後に簡潔に発言して下さい。

各施設の活動報告・情報交換

2月15日19時より、葵タワー24階 グランディエール ブクトーカイにて各施設の活動報告を行います。全国てんかんセンター協議会会員施設の代表者および報告を御希望される非会員施設の代表者は活動報告をお願いします。報告はPCによるプレゼンテーションとなり、1施設の持ち時間は3分です。内容は患者数、手術件数、研究発表数などのてんかんセンターとしての活動を自由にご報告下さい。また、活動報告の後、活動報告に関する質疑応答を含めた情報交換を同じ会場にて行いますので奮ってご参加下さい(参加費不要)。

年間活動報告の受付方法

- 1) 2月15日16時30分までにPC受付(労政会館5階)にて受付をお願いいたします。
- 2) 協議会本部ではWindows7にMicrosoft PowerPoint 2010 および2013をインストールしたものを準備いたします。フォントはOSに標準で装備されているものをご使用ください。発表用データは、ウイルスチェックを行ったUSBメモリあるいはCD-Rにてお持ちください。お持ちいただいたUSBメモリまたはCD-Rはその場で返却いたします。
- 3) Macintoshまたは発表にて動画をご利用される方はご自身のPCをお持込ください。なお、液晶プロジェクターへの接続のためにはD-sub 15Pin (ミニ)アダプターが必要になります。
- 4) 受付いたしました発表データは、発表終了後、確実に消去させていただきます。

報告に際して

- 1) 報告は、すべてPCによるプレゼンテーション(1面映写)となります。フィルムによるスライドやビデオはご使用になれません。
- 2) 報告時間は3分です。時間厳守をお願いします。
- 3) スライドの操作は事務局で行います。

運営委員会出席の方へ

2月15日11:00より、労政会館4階第2会議室にて運営委員会を開催致します。運営委員および参加者の方はご出席をお願いいたします。

全国てんかんセンター協議会総会

2月16日11:55より、労政会館5階大ホールにて全国てんかんセンター協議会の総会を開催致します。皆様のご出席をお願いいたします。

日程表

2月15日(土)

時間	内容		会場
10:40 ~ 12:45 (10分の休憩を含みます)	ランチョンセミナー1	てんかんと看護 (ユージービージャパン株式会社/大塚製薬株式会社共催)	労政会館(大ホール)
11:00 ~ 12:00	運営委員会		労政会館(第2会議室)
13:00	開会		労政会館(大ホール)
13:00 ~ 14:25	セッション1	症例報告・てんかんとリスク	〃
14:25 ~ 14:40	休憩		
14:40 ~ 15:20	セッション2	てんかんと教育機関 (グラクソ・スミスクライン株式会社共催)	〃
15:20 ~ 16:05	セッション3	てんかんと教育	〃
16:05 ~ 16:20	休憩		
16:20 ~ 17:45	イブニングセミナー	脳波モニターと安全性 (日本光電工業株式会社共催)	〃
17:45 ~ 18:00	特別セッション		〃
19:00 ~ 22:00	各施設の活動報告・情報交換		葵タワー

2月16日(日)

時間	内容		会場
9:00 ~ 10:25	セッション4	てんかんのケア① 外科治療をめぐって (協和発酵キリン株式会社共催)	労政会館(大ホール)
10:25 ~ 10:40	休憩		
10:40 ~ 12:05	セッション5	てんかんのケア② 心理社会的側面	〃
12:05 ~ 12:25	全国てんかんセンター協議会総会		〃
12:25 ~ 12:40	休憩		
12:40 ~ 13:20	ランチョンセミナー2	てんかんのケア③ 薬物治療 (ファイザー株式会社共催)	〃
13:20 ~ 14:20	セッション6	てんかんのケア④ 薬物と治験	〃
14:20	閉会		〃
14:30 ~ 15:30	ネットワークミーティング(厚労省研究班会議)		労政会館(第2会議室)

プログラム

ランチオンセミナー1: てんかんと看護(ユーシービージャパン株式会社/大塚製薬株式会社共催)

- 座長 辻 富基美 (和歌山県立医科大学)
作田 憲一 (浅ノ川総合病院)
- LS1 指定発言1 杵渕 絵美 (西新潟中央病院)
院内認定てんかん専門看護師の活動と育成
- LS1 指定発言2 廣瀬 喜代子 (奈良医療センター)
てんかんと看護
- LS1 一般演題1 岡田 めぐみ (静岡てんかん・神経医療センター)
小児てんかん病棟における看護師間の情報共有の現状 ～母の不安を看護師間で情報共有するために～
- LS1 一般演題2 西村 円 (国立精神・神経医療研究センター病院)
てんかん患者の情報収集項目の検討 ～文献レビューを通して～
- LS1 一般演題3 小山田 圭吾 (奈良医療センター)
ビデオ脳波モニタリング検査に対する看護師の意識の現状と課題
- (12:05 ～12:15 休憩 10 分)
- LS1 一般演題4 小林 南 (西新潟中央病院)
ビデオ脳波同時記録検査を受ける患者への検査説明方法の改善 ～DVD 作成による視聴覚的効果～
- LS1 一般演題5 竹松 理香 (浅ノ川総合病院)
脳波モニタリング検査入院をした患者の体験

セッション1: 症例報告・てんかんとリスク

- 座長 盛上 直美 (東京医科大学八王子)
工藤 孝子 (順天堂大学)
- S1 指定発言1 伊藤 美由紀 (日本医科大学武蔵小杉病院)
長時間ビデオ脳波モニタリング検査における病棟スタッフとしての取り組み ～より安全に、より確実に、発作を記録するために～
- S1 指定発言2 岡野 希望 (東京都立神経病院)
ICU で実施する頭蓋内電極留置および頭皮脳波による発作ビデオモニタリングについて
- S1 一般演題1 鈴木 菜摘 (東北大学)
てんかんモニタリングユニットにおける心臓自律神経障害の評価
- S1 一般演題2 熊田 真記 (国立精神・神経医療研究センター病院)
てんかん発作の転倒による外傷軽減のための取り組み
- S1 一般演題3 福田 香織 (長崎医療センター)
脳神経疾患患者の転倒・転落予防対策に関するフローチャート作成までの経過報告

セッション2: てんかんと教育機関(グラクソ・スミスクライン株式会社共催)

- 座長 夫 敬憲 (四国こどもとおとなの医療センター)
高橋 香代子 (北海道大学)
- S2 指定発言1 永井 利三郎 (大阪大学)
てんかんに関わる支援職への情報提供について
- S2 指定発言2 半田 浩美 (岡山大学)
てんかんをもつ児と家族のための特別支援学校との連携 一家族の主体性を尊重した連携

セッション3: てんかんと教育

- 座長 夫 敬憲 (四国こどもとおとなの医療センター)
高橋 香代子 (北海道大学)
- S3 一般演題1 柳 麻美 (長崎医療センター)
てんかん患児の在宅でできるリハビリテーションパンフレット作成
- S3 一般演題2 小柳 久美子 (中村記念病院)
てんかん発作観察シート導入後の発作事例に対するシートの活用度と今後の課題
- S3 一般演題3 青柳 政彦 (静岡てんかん・神経医療センター)
てんかんハンドブックの利用による効果の検証 ～専門知識の共有化を目指して～

イブニングセミナー:脳波モニターと安全性(日本光電工業株式会社共催)

- 座長 池田 昭夫 (京都大学)
小山 由美 (広島大学)
- ES 指定発言1 板倉 朋子 (九州大学)
ビデオモニタリング脳波における安全性
- ES 指定発言2 簡野 直子 (東北大学)
ビデオ脳波モニタリング中の安全管理
- ES 一般演題1 松本 彩郁 (宇多野病院)
パンフレットを用いた長時間ビデオ脳波事前説明の評価:脳波技師の視点から
- ES 一般演題2 中村 美輝 (東北大学)
てんかんモニタリングユニットにおける睡眠障害の評価
- ES 一般演題3 佐藤 哲也 (静岡てんかん・神経医療センター)
長時間脳波検査における、電極装着が困難な小児への工夫

特別セッション:運転と安全

- 座長 久保田 英幹 (静岡てんかん・神経医療センター)
- SS 指定発言 江部 和俊 (トヨタ先進安全性技術研究センター)
事故データからの考察 一命を救うために何ができるか

セッション4:てんかんのケア① 外科治療をめぐって(協和発酵キリン株式会社共催)

- 座長 川合 謙介 (NTT 東日本関東病院)
馬場 美穂子 (鹿児島大学)
- S4 指定発言1 丸田 雄一 (山口大学)
当科における長期脳波ビデオモニタリングの記録・解析における工夫
- S4 指定発言2 中永 知佳 (四国こともおとなの医療センター)
頭蓋内電極留置患者の電極固定帽子作成への取り組み
- S4 一般演題1 長田 英喜 (静岡てんかん・神経医療センター)
てんかん外科手術後の機能訓練に加えて、心理社会的アプローチが重要と考えられた1症例
- S4 一般演題2 小林 千穂 (東京医科大学八王子医療センター)
側頭葉てんかんの脳波検査で頬骨弓上電極が診断に有用であった一例
- S4 一般演題3 荒井 宏美 (東北大学)
てんかんモニタリングユニットにおける看護の取り組み

セッション5:てんかんのケア② 心理社会的側面

- 座長 大桑 朋子 (国立精神・神経医療研究センター病院)
林 香織 (宇多野病院)
- S5 指定発言1 大葉 和美
安枝 尚子 (東京医科歯科大学)
脳神経外科一般病棟での、てんかん患者の安全面に対する取り組み
- S5 指定発言2 笹川 佑記 (すずかけクリニック)
てんかん当事者への心理社会的リハビリテーション —てんかん治療でコメディカルが果たすべき役割—
- S5 一般演題1 布施木 景子 (順天堂大学)
記憶低下に苦慮し、転職を繰り返すてんかん外来受診中の20代男性患者への支援
- S5 一般演題2 岸本 百合 (東北大学)
てんかんモニタリングユニットにおける心理社会的支援
- S5 一般演題3 岡田 和枝 (国立精神・神経医療研究センター病院)
自伝的記憶が消えている側頭葉てんかんの神経心理検査について

ランチョンセミナー2: てんかんのケア③ 薬物治療(ファイザー株式会社共催)

- 座長 溝渕 雅広 (中村記念病院)
海野 美千代 (てんかん専門病院ベーター)
- LS2 指定発言1 田中 誠 (長崎医療センター)
脳神経疾患病棟での薬剤師の取り組み
- LS2 指定発言2 岡崎 智恵子 (産業医科大学)
内服薬管理基準 MAP の使用による内服自己管理能力の判断と服薬管理指導

セッション6: てんかんのケア④ 薬物と治験

- 座長 溝渕 雅広 (中村記念病院)
海野 美千代 (てんかん専門病院ベーター)
- S6 一般演題1 石原 己緒光 (静岡てんかん・神経医療センター)
抗てんかん薬を服用している患者の服薬知識の実態調査する
- S6 一般演題2 平山 真秀 (奈良医療センター)
当院における抗てんかん薬服用患者の薬疹発症とHLA-A*3101 遺伝子の有無、副作用歴、アレルギー歴の関連についての調査
- S6 一般演題3 太幡 真紀 (国立精神・神経医療研究センター病院)
てんかん治験推進に向けた地域ネットワークの構築を確立するための実施可能性の調査
- S6 一般演題4 山本 吉章 (静岡てんかん・神経医療センター)
CYP2C9 および CYP2C19 の遺伝子多型に基づいたフェニトインの個別化薬物療法

ポスターセッション(掲示のみ)

- PS 一般演題1 森田 祐基 (静岡てんかん・神経医療センター)
新規抗てんかん薬の処方動向調査と医療経済に与える影響